



「荒川サーモンフィッシング」



[Topics]

- ・協議会活動紹介
- ・特集
「あらかわスイーツプロジェクト」
- ・あらかわ歴史さんぽ
- ・あらかわ伝言板



まちづくり広報誌

あらかわ

絆で結ばれ
自然と共に生きるまち あらかわ



みらいファンド 公開審査会

5月24日(日)、今年で4回目を数える『あらかわみらいファンド助成事業の公開審査会（プレゼンテーション）』を、荒川支所3階旧議場にて開催しました。

あらかわみらいファンドは、自主的にまちづくり活動に取り組む団体や個人を支援するために設立された制度で、今年「KSKK—金屋獅子踊広報協力会—」「荒川商工会青年部」「カーリンコンあらかわ」の3団体からの応募がありました。



KSKK—金屋獅子踊広報協力会—

あらかわ伝統芸能ブランド化プロジェクト事業



各集落でそれぞれに行われてきた「獅子踊り」や「神楽」といった伝統芸能に関して、協議会を発足することで後継者不足や正当な踊りの伝承などの課題を共有。一体となってあらかわ地区の伝統芸能の将来を考え、ブランド化を目指していこうという取り組みが訴えられました。

荒川商工会青年部

あらかわ出会いサポート事業



昨年、一昨年とみらいファンドを活用して街コン（婚活事業）を開催。その実績を携えての今年も、少人数多店舗型の複数開催や、きらきらフェスティバルや高坪山登山での「あらコン」などを企画。地元飲食店の協力を得て「清流あらかわの味」を参加者に堪能してもらうなど、あらかわ地区のPRを意識した取り組みが訴えられました。



カーリンコンあらかわ

カーリンコン普及による世代を超えた仲間づくり事業



昨年は80歳代を筆頭に15名のメンバーがインストラクターの資格を取得、地域の茶の間や子ども教室などに出向き、カーリンコンの普及に努めました。今年も、指導してきた人達を一堂に会して「あらかわ大会」を開催し、一層の交流・親睦を図り、地域活性化や健康づくり・仲間づくりを目指していきたいと訴えました。

みらいファンド チャレンジ部門

あらかわみらいファンド助成事業の裾野を広げるために設けられた制度で、10万円を上限に活動費を助成するもの。今年度は以下に挙げた3事業の応募があり、いずれも採択されました。

- ・「食を気軽に楽しく学べる場所の提供事業」
- ・「みんなで歌って健康に事業」
- ・「麻を使った地域活性化のための研修事業」



大盛況！うたごえ広場



「みんなで歌って健康に事業」として7月18日に開催された「第一回うたごえ広場」には、40名以上が集まり数々の懐かしいメロディーを旧議場に響かせました。
※毎月1回開催



開講！福茶 cafe's キッチン

「食を気軽に楽しく学べる場所の提供事業」として、7月にOPENした料理教室。様々なテーマで開催される教室は、新米ママにもオススメ！スキルアップだけでなく、新しい交流のきっかけにもなるかも知れません。



荒島わらび山開発クラブがTV出演

一昨年に3カ年事業としてみらいファンド助成事業に採択された同クラブの取り組みが、UXの番組に取り上げられました。

わらび園の整備をはじめ、林道沿線のレンギョウ植栽やスーパー等への販路確保など、これまで着実に進めてきた歩みが形となってきたようです！わらび園の本格開園まで、もうひと頑張りです！





ラベンダーフェスティバル

with 冒険遊び場



あらかわ地区の貴重な地域資源である「運動公園」を訪れた人を癒し楽しませてくれ、みんなに愛される場所にしたいという想いからスタートした「花いっぱい作戦」と「こどもは風の子元気な子作戦」。その活動が今年、大きな花を咲かせました。



風かおる丘『幸せを呼ぶ鐘』

ラベンダー畑のシンボルとして、運動公園で一番のビューポイントに「幸せを呼ぶ鐘」を設置しました。遠く日本海を望みながら、鐘を鳴らして幸せを…！

まもなく始動！
まち協拠点施設でピザ窯作りに挑戦♪



旧荒島保育園での冒険遊び場づくりの第1弾として、9月13日(日)と26日(土)にピザ窯づくりに挑戦しました。

完成の暁には、みなさんへのお披露目を兼ねたピザづくり体験会を開催します。詳細は、後日お知らせします。乞うご期待!!

特集

あらかわスイーツプロジェクト

みんなの食べたい！をカタチにした

あらかわスイーツ

子ども部門 期間限定販売！
9月5日～10月2日

ハンバーガーケーキ 390円
松月堂

バナナッツロール 390円
上原洋菓子 FICO

高野山のかね 540円
松月堂

たかつば山くまモンブラン 495円
HAPPY SUGAR

パンダケーキ 405円
パティスリー マルケ

夢のスイーツ賞

マゾケーキ	園中 乃愛
フルーツケーキ	大塚 純心
くもをかべのらどんぬあじ?	新藤 悠月

あらかわスイーツリバー
野村花庵のつーピーパイ

金子 穂子
松月園キッズ

あらかわ地区まちづくり協議会(仮)主催 | TEL:0254-42-3188 | 事務局:0254-42-3188

あらかわ地区の特産品づくりと地域経済の活性化を目指し、支援情報部会と地区内菓子店が協働事業として始めた「あらかわスイーツコンテスト」も今年で3回目を迎えました。

地域のみなさんからの関心も年々高まり、今回のコンテストには過去最多となる169点もの応募をいただきました。

今年は新たな試みとして「子ども部門」と「おとな部門」で、それぞれ異なるテーマを設けて作品を募集。各部門から5点ずつの優秀作品を選考し、商品化に取り組みました。

想像力豊かな子どもらしい夢あふれるスイーツから、おみやげにもピッタリの本格派スイーツまで、魅力的な10点の「あらかわスイーツ」が今年も誕生しました。

おとな部門の「よそに持っていきたい！あらかわみやげ」というテーマは、特産品づくりという目的を強く意識したもので、支援情報部会としましては「親戚や友人を訪問する際の手みやげ」などに、ぜひとも活用して頂きたいと考えております。

地域のみなさんの想いを詰め込んだ「あらかわスイーツ」をご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

完売御礼

夢のあらかわ氷



8月7日(金)のあらかわ大祭において、あらかわスイーツプロジェクトチーム特製「夢のあらかわ氷」とオリジナルあらかわカクテルを販売しました。



この取り組みは、あらかわ大祭を盛り上げる事と「あらかわスイーツコンテスト」の費用捻出を目的としたもので、商品の試作から当日の準備、製造・販売まで、全ての作業を支援情報部会と菓子店のみなさんで協力して行いました。

販売コーナーには長蛇の列ができ、おかげさまで約450杯の「夢のあらかわ氷」を完売することができました。お買い上げ頂いたみなさま、本当にありがとうございました。

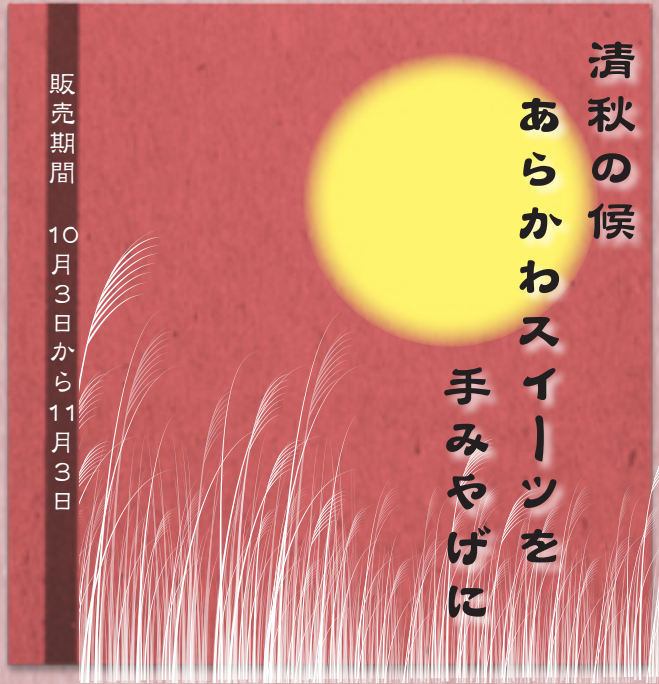


洋風中皮「CHIYOKA」 3個入り 450円(税込)

ご当地スイーツである中皮を洋風にアレンジ！
あん生・抹茶生・チーズクリームをふわふわの生地で
優しく包みました。

御菓子の小島屋

営業 10:00~19:30 不定休
村上市藤沢91-5 TEL 0254-62-2152



販売期間

10月3日から11月3日

清秋の候

あらかわスイーツを

手みやげに



ぽっぽ巻き 1個 270円(税込) 1本 972円(税込)

新潟県下越地方名物の「ぽっぽ焼き」をロールケーキに！
黒豆入りクリームを黒糖生地で包み込みました♪

パティスリー マルヤ

営業 8:00~19:00 不定休
村上市金屋2250 TEL 0254-62-2117



生笹だんご 1個 216円(税込)

新潟名物「笹団子」に新提案！
あんこと生クリームを、よもぎ入りのなめらかな求肥
(ぎゅうひ) で包んだスペシャル笹団子です。

松月堂

営業 8:00~19:00 不定休
村上市金屋2257 TEL 0254-62-2025



クロッカスの花マカロン 1個 250円(税込)

あらかわの特産「クロッカス」をイメージしたチョコマカロン。ゆず・ブルーベリー・ロイヤルミルクティーの3種類の味をご用意しました。

HAPPY SUGAR

営業 10:00~18:00 定休日:水曜日
村上市坂町2395-1 TEL 0254-62-1234



ラベンダー畑 1個 400円(税込)

さくさくクッキーの上にレアチーズとブルーベリームースをのせ、運動公園のラベンダー畑を表現！
ラベンダーの香りが口の中に広がります♪

お菓子屋さん nico

営業 10:00~19:00 定休日:月曜日
村上市山口331-25 TEL 0254-62-7300

あらかわ歴史さんぽ

～ 集落地名篇 其ノ壱 ～

これまで『あらかわ歴史さんぽ』では、いくつかの集落を取り上げ、写真を交えて歴史的背景などについて紹介してきましたが、少々の間お休みをいただきまして、今号から集落地名編をお届けいたします。

貝附

伝説には昔、貝の片側が流れついたところが貝附で、貝の片側が残ったところが関川村片貝だといわれています。しかし貝附は「飼附」で放牧場・産馬の地から、その名がおこったものと思います。昔、貝附は交通の要所で、対岸の小岩内村とを結ぶ渡しは「せばの渡」と呼ばれました。羽越水害後、西方台地に移転しましたが、旧地区南方の標高 100 ～ 120 メートル地点に館跡、南西の標高 230 ～ 250 メートル地点に山城跡があります。

いずれも戦国期に、色部氏の家中となった須貝氏のものとの説もありますが不詳です。

花立

昔、花立には旅籠屋と大きな薬師堂があり、旅人は必ず花を立てて通ったといわれています。

また、一定の日に、野外に花を立て、神を祭る場所を、昔の人は花立と呼んでいました。

また花立には城跡があり、その花の館、端館に由来するとの説もあります。羽越水害後、南西の台地に集団移転しました。

荒島

現存の資料にも荒島を「荒州」としたものがあります。「荒」は大体において、「新」の当て字のようです。昔、荒川が山治いを流れていた頃は、荒島は中州で、部落は本村とむかい村の二つに分かれていたものと思われます。今でも「むかいむら」の地名もあり、家の土台石とみられるものが、たくさん掘り出されたことがあるそうです。

白川風土記には、村の東方に古館あり、万治二年の検地以後、田畑になったと記されていますが、不詳です。

春木山

村の起因については記録もなく、掘るべき文書もありませんが、村の先祖は榎茂左エ門といわれ、通称一条垣と呼ばれる館跡あたりが、村発祥の地と思われます。春木山には茂左エ門の屋敷跡もあり、隆盛時に菩提供養のために建立した庵寺や墓（通称、大墓）もあったそうです。西法寺は天文年間（1532 ～ 1555）小丸山に創建され、元和年間（1615 ～ 1624）現在地に移されたといわれています。



上鍛冶屋

昔は諏訪神社を氏神に、その周辺瀬波川治いに百戸近くの家があったとのことですが、度重なる洪水と、京都藤原系の鍛冶職の人が多かったため、しばしば火災があり、安住することはできませんでした。そのため、だしの風の通り道を避け、神社を残し現在地に移転したそうです。昔は一つの村でしたが、万治2年（1659）の検地以後、上・下鍛冶屋に分かれました。

下鍛冶屋

昔は「かじやの村」と呼ばれ上鍛冶屋と一つの集落でした。地名は鍛冶屋野と呼ばれる野原に鍛冶職人が住んでいたことに起因すると思います。このあたりは、だしの風が強く、火災もしばしばあったことから、鍛冶職の人たちは、ちりぢりに分散したと伝えられています。伝説では、大里峠の大蛇のたたりで、鍛冶職人は部落にいられなくなり他国へ引越したとあります。

梨木

平安朝の昔、天皇家の仕事をしていた人々が梨園（梨畑）をつくっていたといわれています。梨ノ木の地名もそのことと関係あるのではないのでしょうか。なお移転してきた時期は不明ですが、旧集落跡が南方の台地上にあります。梨園のあとは、現在の低位段丘のあたりではないかといわれています。

切田

荒川町の集落が平地にあるのにくらべ、切田は少し高いところにあり、土器なども出土することから、古くから人々が居住していたと考えられます。江戸時代には蒲原郡切田を上切田村、荒川町切田を下切田村と呼んだこともあるそうです。（一説には山切田村と切田村）切田の地名は、開田という意味でつけられたと思います。「キリ」とは、昔は処女地に鋤を入れるという意味で使われたのです。

十文字

文字どおり交通路が十文字になっている場所にできた村です。旧江戸街道と米沢街道の別れ道で休み茶屋的な所から今の姿に発展しました。昔はお上の松御林のあったところです。明治になって仙台鎮台（陸軍の軍団）ができてから軍事上の目的で、米沢街道を整備して現在の国道113号線にしました。新しい国道7号線から分岐しています。

野口

入出野（野口野）の入口ということでつけられた地名で、元禄郷帳には、坂町村枝郷と記載されていますが、開発・分村の時期は不明です。江戸時代、庄屋は坂町村の兼帯（兼任のこと）でした。明治二十二年までに坂町村と合併しましたが、戦後再び独立して、新しい区になりました。



坂町住宅

以前はこのあたりから切田地内まで松御林でした。明治に入ってから官（国）有林であったところを、大正に入って坂町・切田の有志が払い下げを受け、畑として開墾したもので、官林畑と呼んでいた所です。昭和三十六年度に町営住宅が建設され、昭和三十九年頃、独立して新しい区になりました。

坂町

大昔、このあたりは激流さかまく大川で、その「さかまき」から「さかまち」が変わったと伝えられています。荒川保の地頭であった河村家の譲状にみえる「あらかわの一いち」は当地のこととする説もあります。一日市は、一日を朔日ということから「朔市」となり「坂市」―「坂町」となったものと考えられます。応永三十四年（1427）、長尾朝景、越後瀬波郡荒川保の内、坂市を家来の中島与次郎に知行せしむ、という安堵状（所領を承認する文書）も残されています。

坂町駅前

駅前は大正三年、村上線（羽越本線）が開通し、坂町駅が開設されたことから現在のよう賑やかな発展をとげました。また昭和六年に坂町から越後下関まで開通しています。以前は駅の付近は「前島」という地名だったそうですが、荒川がそのあたりを流れていた頃の名残りだと思います。もともと坂町区に属していましたが、戦後独立して、新しい区になりました。

藤沢

文禄（1592～96）頃の瀬波郡絵図には、坂町村の北方荒川寄りに、土沢村が記載されています。これは口書（言葉を文字にすること）のとき、ふじさわをひじさわと聞き違い、土沢と記録したものと推察されます。

また一説には、藤沢は昔、土沢といいましたが、慶長三、四年頃（1598～99）藤沢市遊行寺の遊行上人が諸国行脚のおり部落の庵寺にお休みになり、その時から藤沢と改めたともいわれています。この他、藤沢とは、藤の自生する低湿地の沢に住みついて、集落をつくった祖先が名づけた地名とする説もあるそうです。

山口

昔は、森や林のあるところを山口と呼んでいました。山口地区も昔はうっそうたる森林が繁っていたところではないかと思えます。昭和十八年の政府の強制供木により、伐採される前までは、大きな杉林の中であって、昼なお薄暗いところで、夜道は上を向いて歩くものだったそうです。山口の地名はそんなことから起こったのではないのでしょうか。

羽ヶ榎

木偏に春・夏・秋・冬につく木（椿・榎・楸・柊）は日本では神聖なる木とみられていました。したがって単にそこに木があったというだけではなく、民間信仰と関係があるのではとみる説もあります。一里塚として榎が残っている土地もあるのです。羽ヶ榎は昔、羽ヶ坂と呼ばれていました。山坂道があって、その坂には、ところどころ「はげ」たところがあったのでしょうか。「はげ」とは、山がぐずれて赤土なのでいるところを、昔の人はそう呼んだのです。

—荒川町教育委員会編『あらかわ歴史散歩』（1991）より引用—

集落の地名や由来を見ますと、かつて荒ぶる川として知られた荒川の様子や旧河道を示唆するものなどがあり、そこからは当時の情景や人々の生活、文化などを思い浮かべることができます。このコーナーを読んでもくださったみなさんには、この機会に自分の故郷である集落の生い立ちや歴史について学んでいただき、お子さんやお孫さんにも伝えていただければ幸いです。

みんな集まれ♪「荒川商工産業祭」

まち協ブースも出店します!!

■開催日 **10/18(日)** 9:00～15:30

■場 所 荒川総合体育館

■内 容 物産販売、餅まき、ガラポン抽選会、
ポン菓子無料プレゼント、消防車展示 他

■まち協

【事業部会】

- ・ラベンダー作品展示販売
(石けん、サシェ、ポップリ、バスケット、
スティック、ドライフラワー)
- ・ラベンダークラフト体験 (有料)
(石けん、ハートのサシェづくり)

【支援・情報部会】

- ・あらかわスイーツコンテスト表彰式
- ・コンテスト応募作品展示
- ・あらかわスイーツ PR 販売



あらかわスイーツPR販売



ラベンダークラフト体験

あらかわ伝言板

楽しく体を動かそう!「スポーツフェスティバル」

- 日 時 **10/4(日)** 9:30～12:00
※内容によって開始時刻は異なります
- 場 所 あらかわ総合運動公園 多目的グラウンド
- 内 容 キックターゲット、竹馬、パン食い競争
スーパーボールすくい&お菓子作り
野菜ソムリエによる実演試食会 他
- 参加料 おとな100円 こども無料
- お問い合わせ…サンスマイルあらかわ ☎62-3248

街を彩る♪「きらきらフェスティバル」

- 日 時 **11/1(日)** 16:00～
- 場 所 坂町駅前通り
- 内 容 イルミネーション点灯式、コンサート
物産販売、フリーマーケット 他
- お問い合わせ…荒川商工会 ☎62-3049

芸術の秋!「荒川地区文化祭」

- 日 時 **11/3(祝)** 9:00～17:00
11/4(水) 9:00～15:00
- 場所、内容
 - ・公民館
美術・工芸展、保育園児絵画、お茶会、
食推委員による試食コーナー
ラベンダー作品展示及びクラフト体験 (有料) 他
 - ・体育館
菊花展や盆栽展、小中学生の作品展示、
D51蒸気機関車展示 (体育館脇SL格納庫) 他
- お問い合わせ…荒川地区公民館 ☎62-3050

編集後記

秋と言えば食欲の秋!ということで、今号では間もなく解禁となる「第2弾あらかわスイーツ(おとな部門)」を紹介。お土産などにも最適の本格派スイーツが勢ぞろい♪ぜひ一度お試しあれ!^o^

まちづくり協議会では、
あらかわ地区のいろんな話題を募集しています!

お気軽に、TEL・FAX 0254-62-3181
Mail love-arakawa@bz04.plala.or.jp
URL : <http://www.love-arakawa.bz-service.net/>